

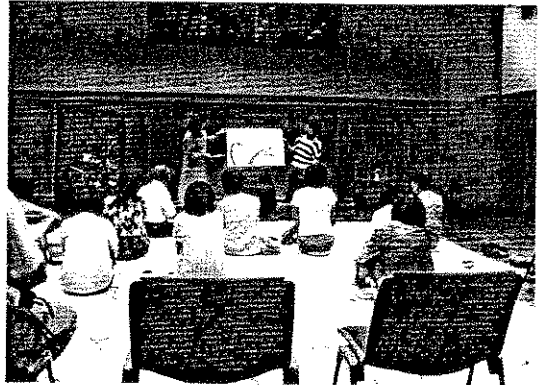
松任おはなしの会



○一緒におはなしの楽しい世界を旅しましょう

松任おはなしの会は、白山市松任地域で文庫や人形劇をしていた有志を中心に7人が集まり、平成8年8月に発足しました。

現在、幼児のいる母親から90歳のベテランまで15人で活動しています。語りや発声の練習、本の紹介や研究書の輪読を行う月2回の例会をはじめ、市内の学校、図書館、幼稚園、保育園、児童館、サービス施設などで、昔話などの語りや絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべ歌などを行う「おはなし会」を開催しています。



○十人十色のおはなしの世界が広がります

人との出会い、本やおはなしとの出会いはとても楽しいものです。おはなしは、語り手の言葉でイメージを膨らませ、おはなしの世界を心で楽しむことができます。おはなしを語り始めると、子ども達は、いつの間にかおはなしの世界に引き込まれて、真剣な眼差しになり、生き生きとした表情になります。おはなしの主人公になりきって疑似体験をしているのです。語り手は聞き手の素直な反応に助けられて、おはなしを進めていきます。おはなしの世界を創るのは語り手と聞き手の共同作業といえます。両者によって十人十色の世界が広がり、それが魅力となっています。また同じ会場で長く続けていると、初めて会った時は保護者の膝の上に座って、わらべ歌や絵本を楽しんでいた乳児が数年後に大きくなって友達とおはなしを楽しんでいる、そんな成長の姿を見るのも楽しみの一つです。



○いついつまでもずーっと

聞き手におはなしを楽しんでもらうには、自分を磨くことが大切です。よい語りをたくさん聞くこと、本を読むこと、体調を整えることを心掛けています。語るおはなしは、昔話が主です。世界の昔話、日本の昔話、白山市に伝わる昔話も語ります。ぬくもりのある生の声で聴いたおはなしは、楽しい思い出となって、子ども達を未永く支えてくれることでしょう。そしておはなしは、語り手の心もまた、ぽかぽかと温め、励ましてくれます。

これからも、みんな元気で仲良く、いついつまでもずーっと活動を続けていきます。

おはなしを聞きたい方、おはなし会をしてほしい方、
おはなしボランティアをしたい方、ご連絡ください。

問い合わせ先:

代表:池田陽子

電話・FAX: 076-274-1357